

元気だった？

2学期が始まります。夏休みそれぞれのご家庭で様々な経験をしてきたお子さんたちが、楽しかった思い出をあふれるように話してくれます。

その経験をクラスの遊びに取り入れ始める姿が見れます。

例えばキャンプに行った一人のお子さんは家族でテントで寝た楽しかった経験から、ダンボールでテントを再現し始めます。

また一人はキャンプでバーベキューをしたことが楽しかった経験から、積み木でコンロを作りコンロに乗せる網作りに試行錯誤しています。

また一人はキャンプに行って川で釣りをし、釣れた楽しい経験と釣った魚をバーベキューで食べおいしかった経験から釣り竿を作り始めました。

またキャンプに行く前のわくわく感から、キャンプの準備から始まり、持っていくものを製作で作り、ままごとコーナーからも選び、袋に詰め、積み木で車を作り始めました。

このようにどれも同じ「キャンプを楽しんだ」経験には違いがありませんが、それぞれのキャンプの楽しさがあり、思い出も様々です。

一人一人の楽しかった経験を分かち合いながら、今度はクラスの楽しいキャンプを作っていきます。

キャンプの経験がないお子さんも、クラスみんなでイメージを話し合い、作っていく中でクラス独自のキャンプごっこに発展していきます。

「ここはこんな感じだったよ」「じゃこれを使ったら」「こうすればいいんじゃない」

「先生これ作りたいけどこんなのない？」「これじゃちょっとしか肉焼けないからもっとコンロ大きくしよう」などなどアイデアが形になっていきます。

今の子どもたちの力を出し合うことで「自分の意見を言葉で伝える」「相手の意見を良く聞き頭の中でイメージする」「イメージしたものを友だちと形にする」など五感を使い、自分のイメージだけで進めるのではなく、協力してつくる心を育ててほしいと思います。

ある夏休み明け、年少さんが一生懸命牛パックを床につけて楽しそうに動かしていました。そこで「〇〇ちゃん何をしているの？」と聞くと「ぼくね お休みの時、おうちの人と新幹線に乗っておじいちゃんとおばあちゃんのお家に行ったんだよ」とその時の楽しかった思い出を話してくれました。

知らない人が見たらただの牛乳パックですが、〇〇ちゃんには大好きなおじいちゃんとおばあちゃん家に連れて行ってくれた新幹線だったので。

楽しかった思い出を牛乳パックの新幹線を走らせながら思い出していたのでしょうかね。

「また 行きたいな！ おじいちゃんおばあちゃん 大好き！」と心の声が聞こえていた私も幸せな気持ちになりました。

2学期からも楽しみます。